

高齡化の状況

家族と世帯

健康・福祉

経済状況

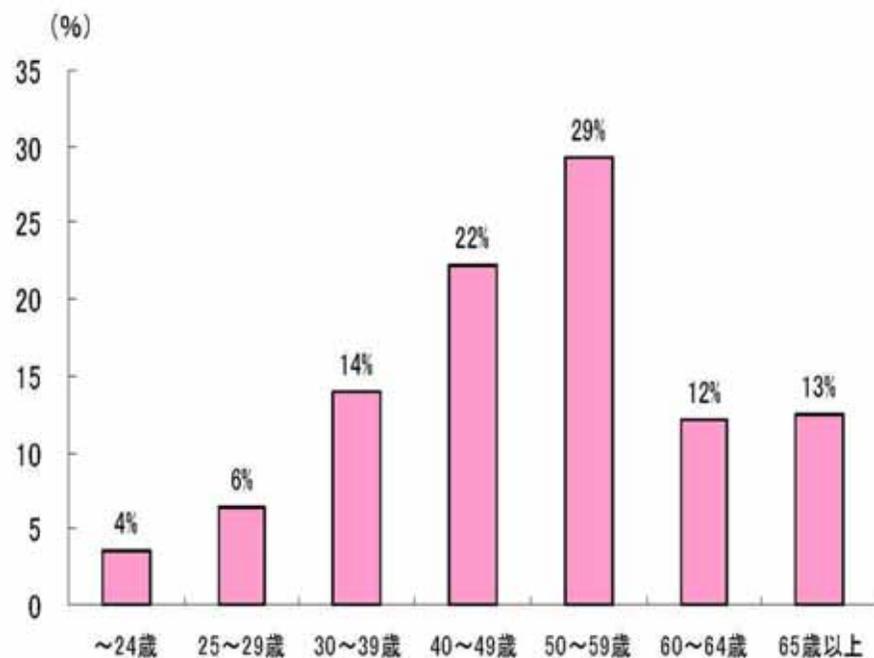
就業

社会参加活動

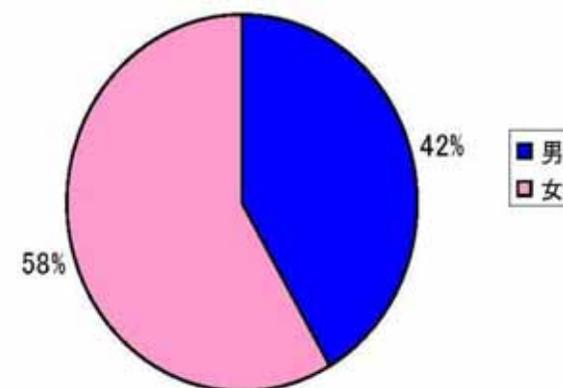
生活環境

中高年齢層、女性の割合が多いコミュニティ・ビジネス

従業者の年齢構成



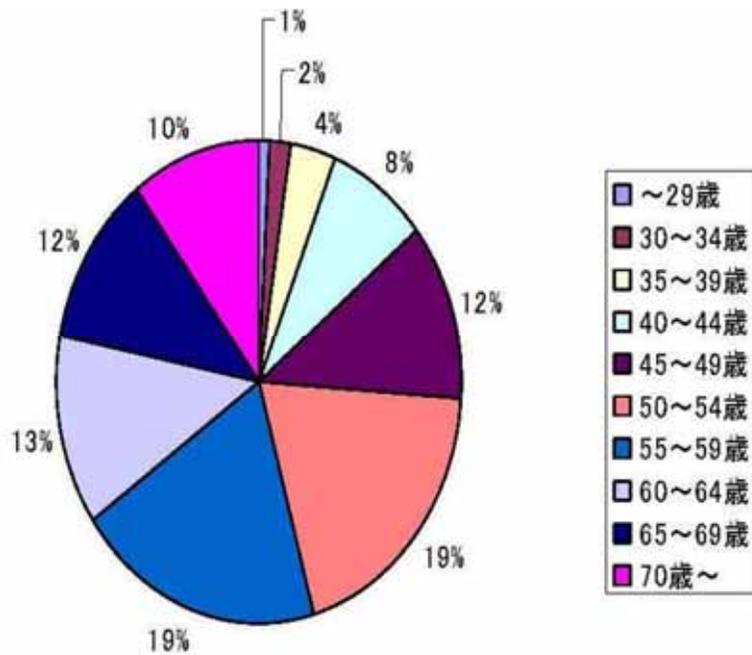
従業者の性別



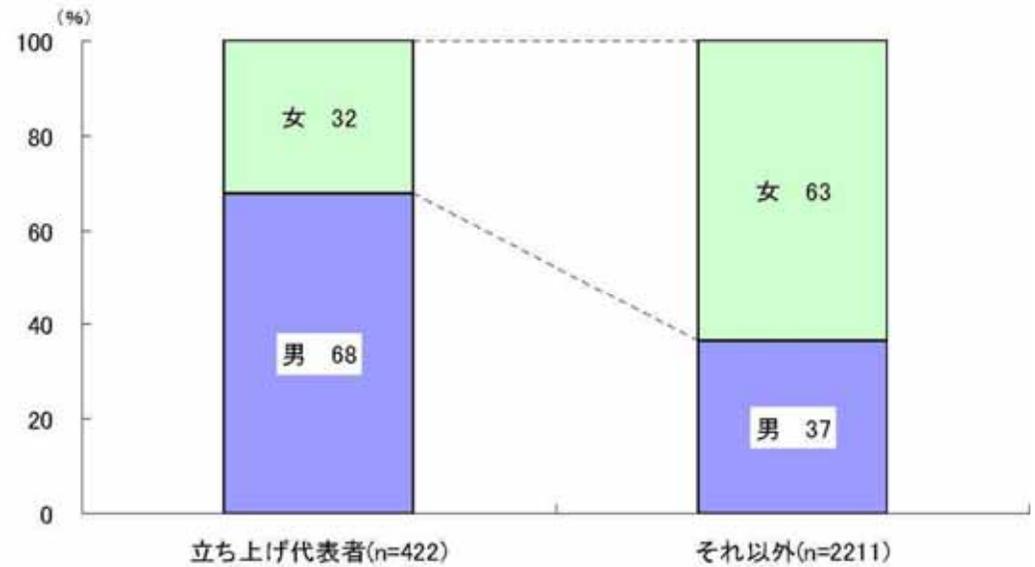
資料：厚生労働省「平成16年コミュニティ・ビジネスにおける働き方に関する調査報告書概要」
コミュニティビジネスとは、市民が主体となって、地域が抱える課題をビジネスの手法により解決し、またコミュニティの再生を通じて、その活動の利益を地域に還元するという事業のことの総称。

コミュニティ・ビジネスの立ち上げ代表者には男性中高年齢層が多い

立ち上げ代表者の年齢分布



立ち上げ代表者とそれ以外の性別分布



資料：厚生労働省「平成16年コミュニティ・ビジネスにおける働き方に関する調査報告書概要」

常勤の1週当たり従業時間は35.3時間、時給は1,216円。非常勤の1週当たり従業時間は14.1時間、1,074円

就労時間・日数

時間当たり賃金額

(単位：時間)

	常勤 週あたり日数	常勤 一日あたり時間	常勤 一週あたり従事時間
全体	4.9	7.2	35.3
NPO	4.8	7.0	33.6
WCO・企業組合	4.4	6.8	29.9
有限会社・株式会社	5.4	7.9	42.7

(単位：円)

	常勤 時間あたり賃金	非常勤 時間あたり賃金
全体	1216	1074
NPO	1120	930
WCO・企業組合	915	872
有限会社・株式会社	1666	1624

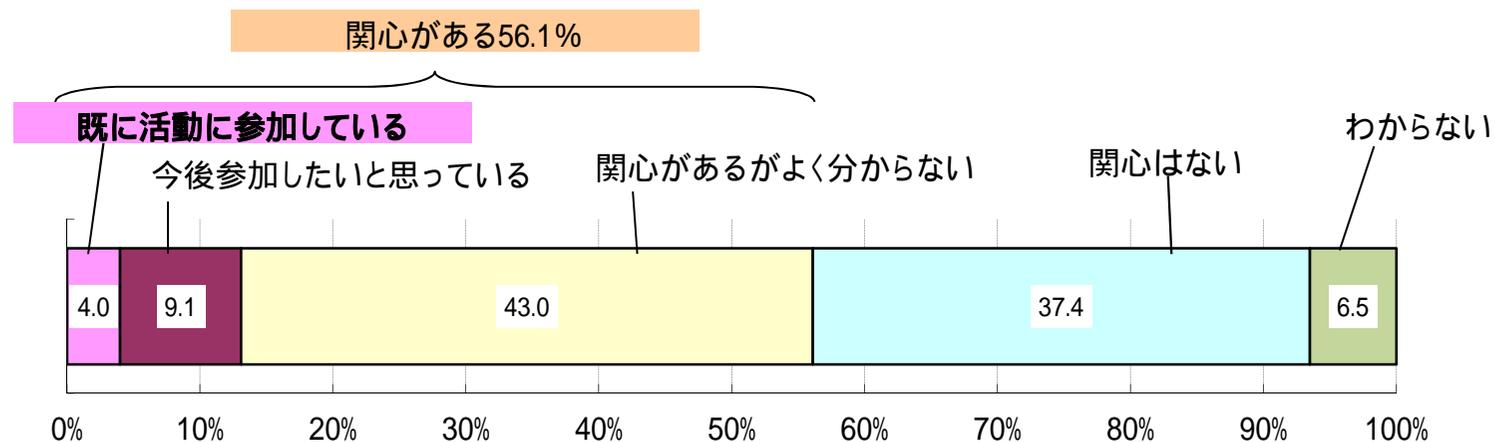
	非常勤 週あたり日数	非常勤 一日あたり時間	非常勤 一週あたり従事時間
全体	3.0	4.7	14.1
NPO	2.9	4.7	13.6
WCO・企業組合	3.1	4.4	13.6
有限会社・株式会社	3.8	4.8	18.2

資料：厚生労働省「平成16年コミュニティ・ビジネスにおける働き方に関する調査報告書概要」

注)WCOはワーカーズコレクティブのこと。地域に貢献する事業を、自分たちで出資し平等に運営するという協同組合方式で行っている団体。企業組合とは、中小企業協同組合法に定められている法人格。4人以上の個人が組合員となって資本と労働を持ち寄り、自らの働く場を創造する組織。

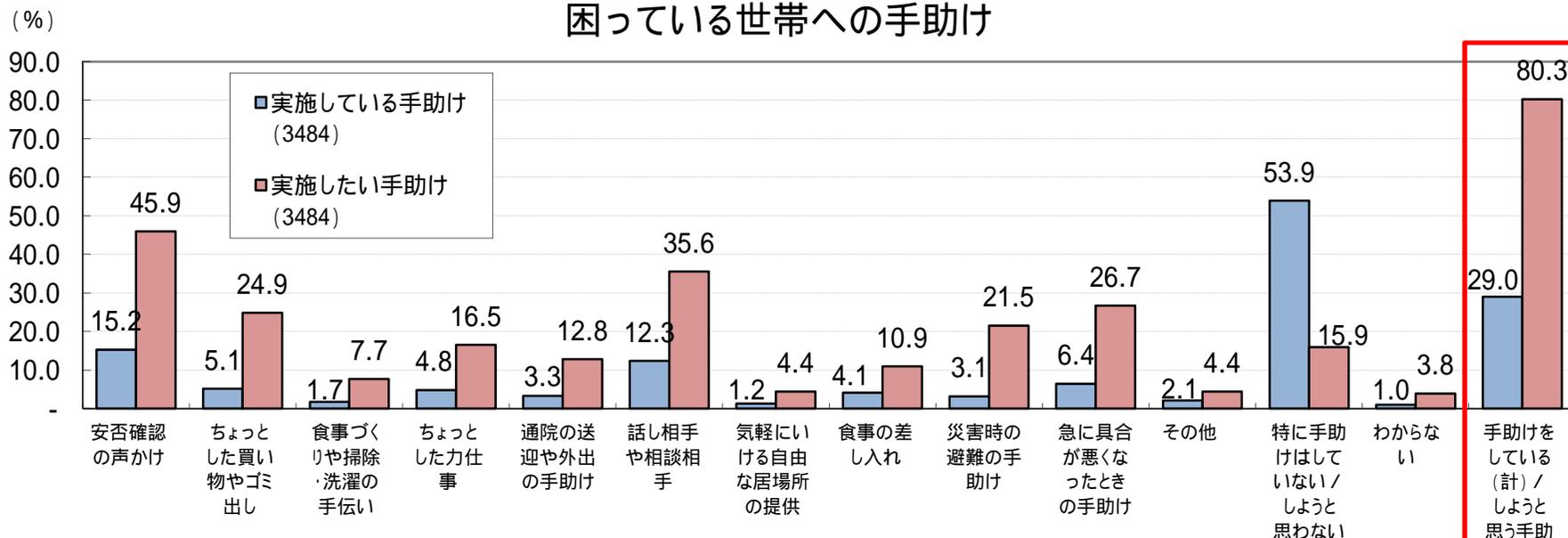
60歳以上の人はNPO活動等への関心が高まっているものの、実際に活動をしている人は多くない

NPO活動への関心の有無



資料: 内閣府「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」(平成20年) (注) 調査対象は、全国60歳以上の男女

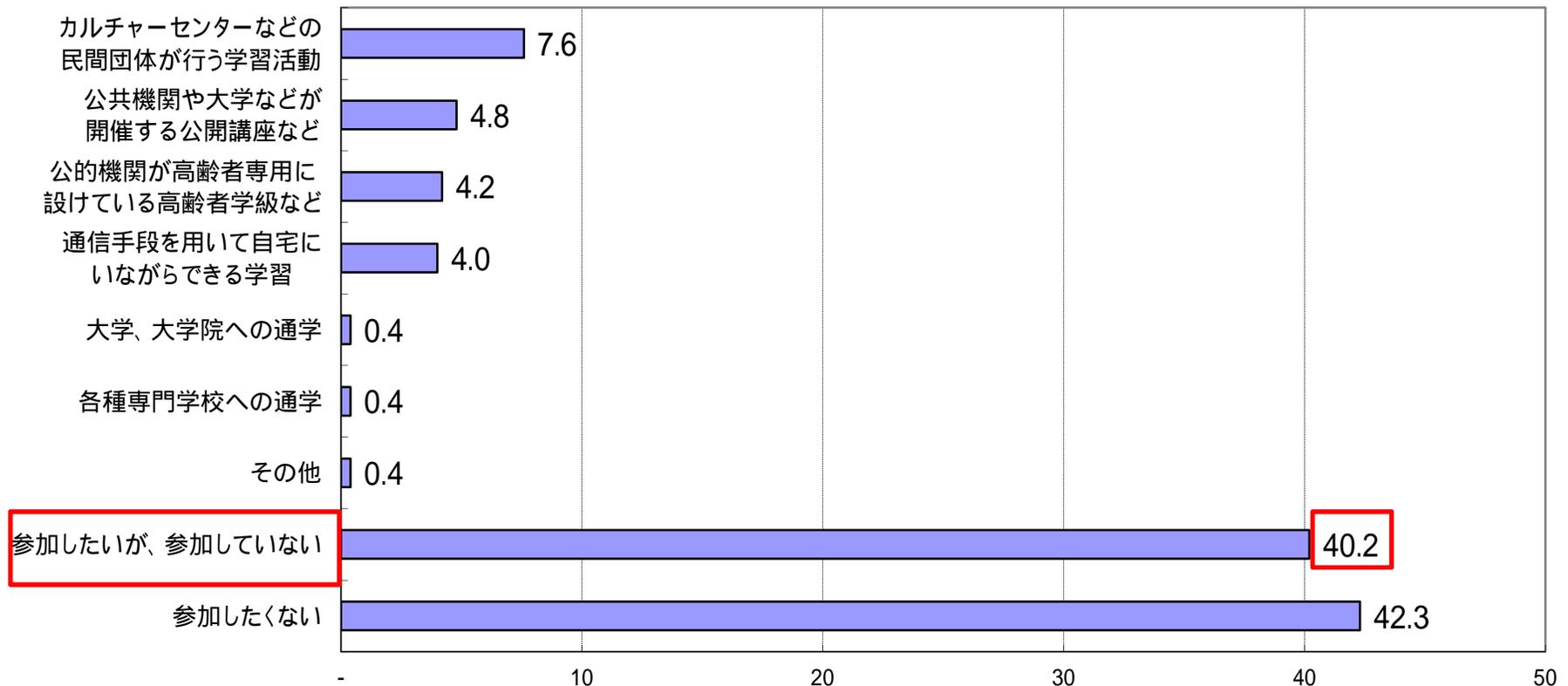
困っている世帯への手助け



資料: 内閣府「高齢者の地域におけるライフスタイルに関する調査」(平成21年)
 (注) 調査対象は、全国60歳以上の男女

学習活動に参加したいが、実際には参加していない人が4割

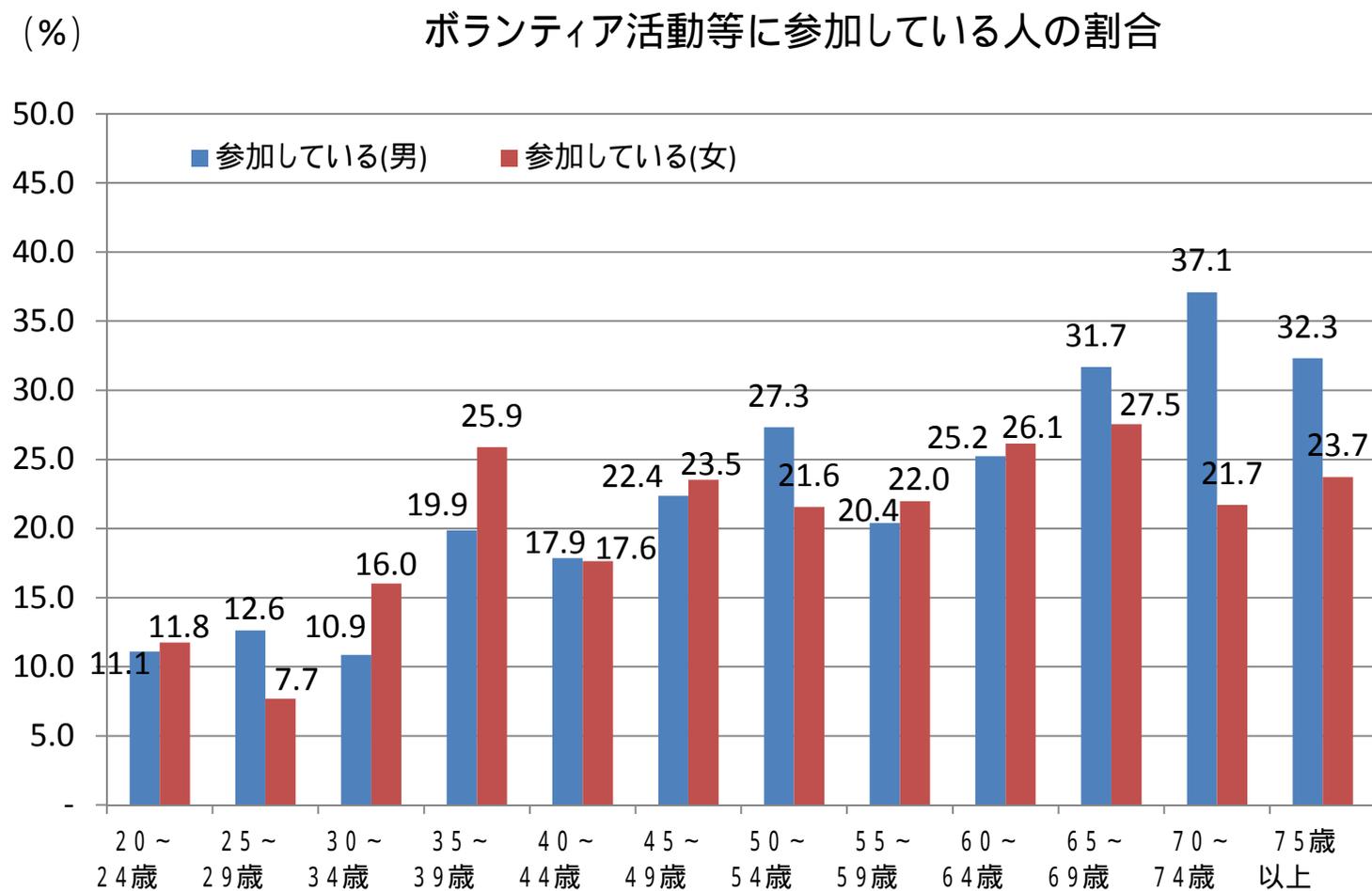
高齢者の学習活動への参加状況(複数回答)



資料: 内閣府「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」(平成20年)

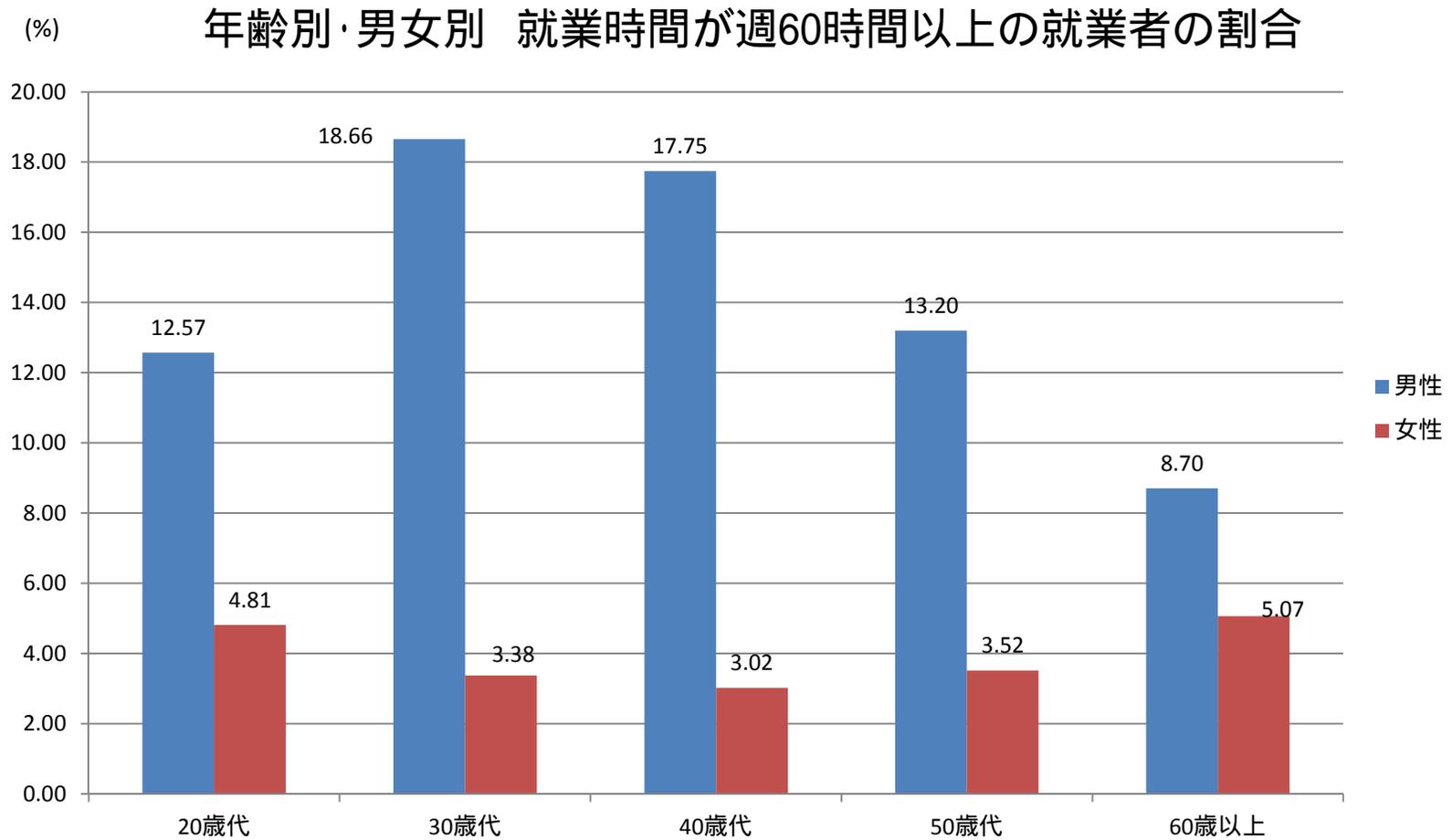
(注) 調査対象は、全国60歳以上の男女

ボランティア活動等に参加している人の割合は、男性は年齢が高くなるにつれて上昇傾向



資料:平成22年度 国民生活選好度調査

週60時間以上働いている就業者の割合は、30歳代、40歳代の男性で高い

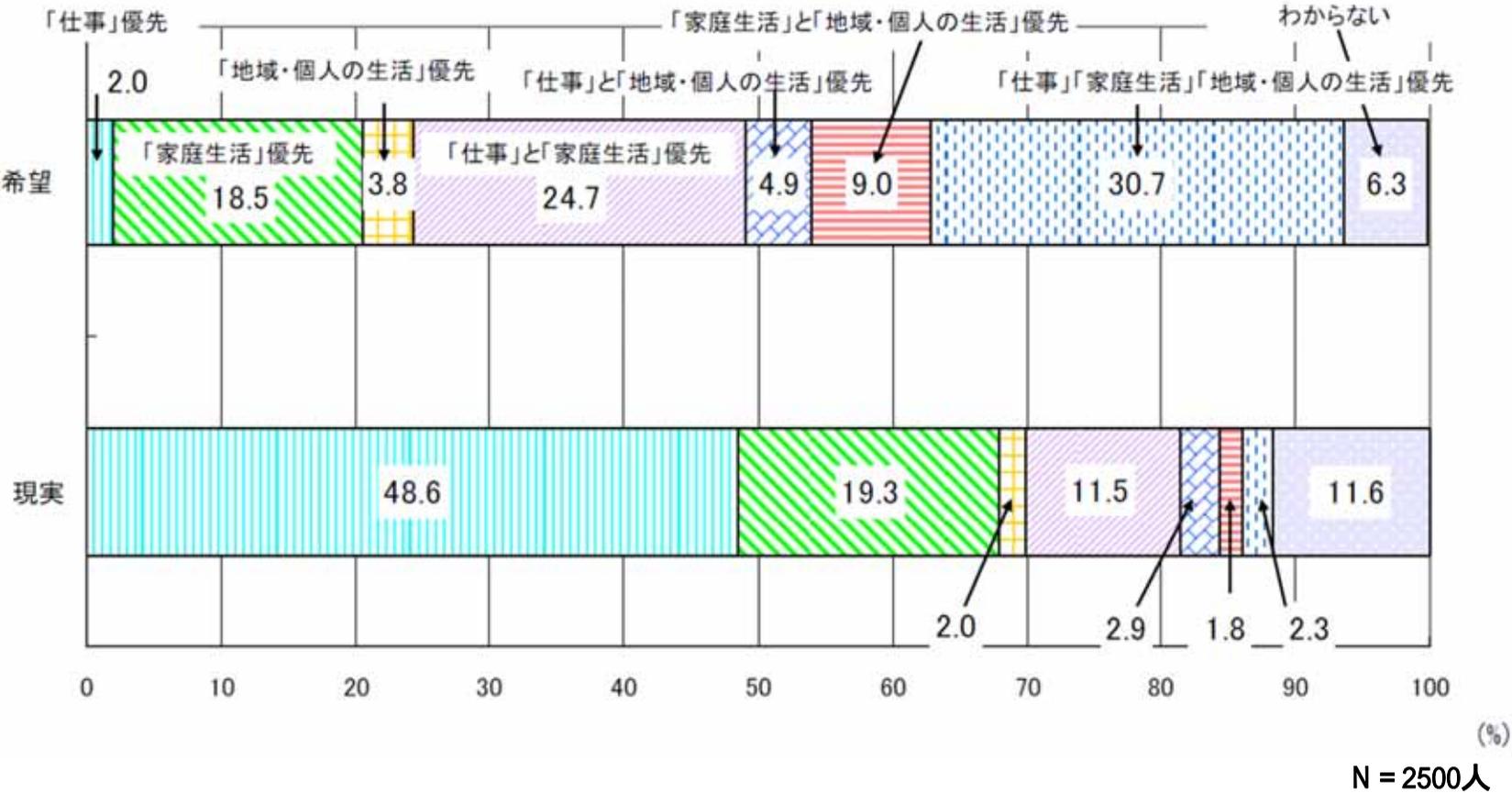


(注) 数値は2010年平均

資料: 総務省統計局「労働力調査」

生活の時間をより多く確保したい労働者が多い

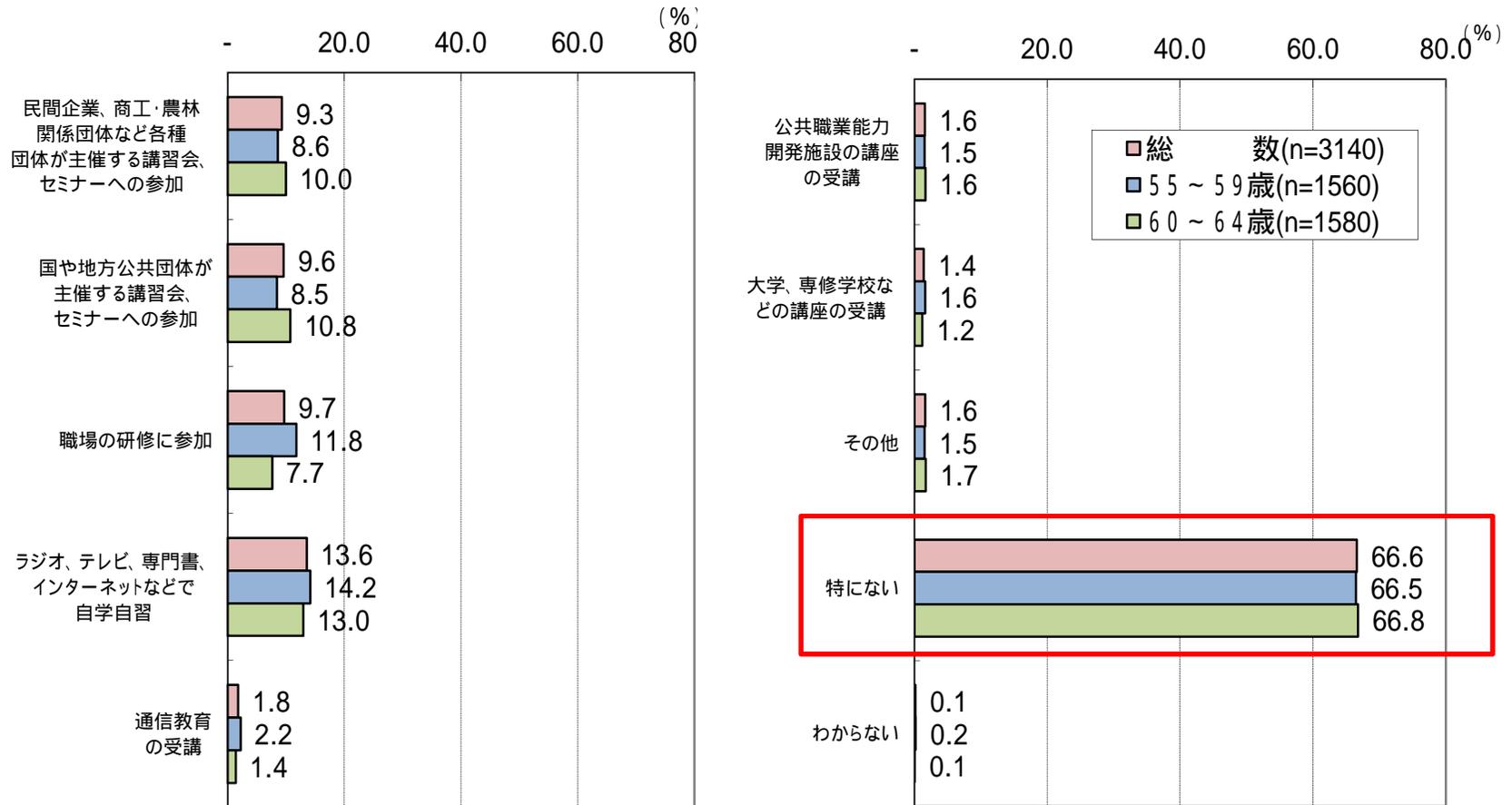
仕事と生活の調和に関する希望と現実



資料:内閣府「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)に関する意識調査」(平成20年9月)

高齢期に備えての自己啓発・学習をしていない人は約3分の2と多い

高齢期に備えて、過去1年間に、自分の能力や意識を高めるために参加したり、行ったりしたことはありますか？



資料：内閣府「中高年者の高齢期に備えての意識に関する調査」（平成20年） 対象は55歳～64歳の者